



あなたもウッド・チェンジ しませんか？



国産間伐材の木製ストロー



MOKULOCK・KODOMO シリーズ
／OTONA シリーズ



曲げ木パネのマウスパッド



森の音がするスマートフォンスピーカー

プラスチックごみによる海洋汚染問題を受け、世界的な動きとなっている「脱プラスチック」。日本でも7月1日からプラスチック製レジ袋が有料化されました。これをきっかけに、使い捨てのビニール袋からエコバックの利用に替えた方も多いのではないのでしょうか？身のまわりのモノを「ウッド・チェンジ」すれば、日本の森林が元気になり、脱プラだけではなく、環境保全、山村・地域振興にも貢献できます。新技術やアイデアが詰まったおしゃれで便利な木製品がたくさん登場しています。あなたもウッド・チェンジしませんか？

木に関するあらゆるモノ・コトを対象に、暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの消費者視点から、優れた製品・取組等を表彰する「ウッドデザイン賞」。2015年からこれまでに受賞した1,274作品には、あなたの暮らしをウッド・チェンジするヒントが詰まっています。

たとえば、2019年に林野庁長官賞を受賞した国産間伐材ストローや2018年に審査委員長賞を受賞した木製ブロック。従来は



プラスチックで作られていたものが見事にウッド・チェンジされています。
このほか、2017年林野庁長官賞のマウスパッド、2016年入賞のスマートフォンスピーカーなど、テレワークに役立つ木製品もたくさん。これまでの受賞作品は、ウッドデザイン賞公式ホームページでご覧いただけます。
<https://www.wooddesign.jp/>



特定非営利活動法人 活木活木（いきいき）森ネットワークが運営する「木づかい.com」でも、素敵な国産材製品をたくさん紹介しています。オンラインで購入できる製品も多くあります。

このたび、飛沫防止マナーボードや木糸マスクなど、コロナ対策グッズコーナーが新設されました。また、国産材を使う意義について、お子さんから大人まで分かりやすく解説されています。

<https://www.kidukai.com/>





林野庁がある農林水産省の庁舎もウッド・チェンジを進めていますので、ご紹介します。これは、平成 22 年 10 月に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、農林水産省においても、「新農林水産省木材利用推進計画」を策定して、庁舎等施設の木造化・内装等の木質化、備品への木材利用等を推進しているものです。



受付カウンター及び入館ゲート



農林水産省正面玄関

本館の正面玄関ホールは高知県産ヒノキをふんだんに使用した木質空間に生まれ変わりました。木に包まれ、木漏れ日のさす森の中にいるような待合スペースにリニューアルし、来庁者が入館手続の際に使用する記帳台や受付カウンターにも国産材を取り入れました。職員からも「木のぬくもりが感じられてとても素敵」「森の中にいるようで癒やされる」などと好評です。

待合スペースに設置された大型デジタルディスプレイでは、今注目の「BUZZ (バズ) MAFF (マフ) (*)」などが放映されていますので、農林水産省にご来館の際は、ぜひお立ち寄りください。

* BUZZ MAFF：霞が関初官僚系 YouTuber チャンネル。農林水産省職員自らが、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信しています。



待合スペース



立体感のある木の羽目板で飾られた記帳台



多目的トイレ



本館 1 階中央の多目的トイレ外観

本館 1 階中央の多目的トイレも、三重県尾鷲産のヒノキと焼きスギ（茶色の部分）の無垢材を使用し、木のぬくもりを感じられる外観となりました。

トイレの内部は、車いす用トイレの他、おむつ交換台、ベビーチェア等のユニットが設置され、どなたにも安全・快適にご利用いただけます。障害者の方をはじめとした真に必要な人が、快適に利用できるようにとの想いを込めて「思いやりトイレ」と名付け、職員手作りの「双方向バリアフリーマーク」が目印となっています。

オフィスや施設などの内装を一部でも木に変えることで、無機質な空間が明るくなり、より心地よく過ごすことができるようになります。皆さんの職場でも手軽なところからウッド・チェンジしてみませんか。